立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.11.11（水）
No.29

［校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）］

格別な味がします。



青い空と緑の芝生に包まれた２年生。「1000 個たべた～い！」「おかわりがほしいです。」と声があがります。

運動場にあるふれあい広場では、かまどを使って、焼き芋パーティが行われました。

２年生が５月に立西農園に植えたサツマイモの苗は、ボランティアチームのびのびさんによって、毎日大切に管理され、大きく立派なサツマイモが育ちました。

11 月４日（水）に収穫した伝統野菜の尼いもと田能の里芋、九州から苗を届けていただき育てたサツマイモ。命が受け継がれた芋たちです。のびのびさんが大切に育ててくださった芋たちです。２年生が心待ちにしていた芋たちです。おいしいに決まっています。格別な味に違いありません。1000 個は食べられそうです。

９日（月）には、湯がいたサツマイモと田能の里芋を試食しました。ボランティアさんが湯がいて、教室に届けてくださいました。





子どもたちは、わくわくが止まりません。味比べもして、ねっとり感やほくほく感といった食感も味わったことでしょう。

試食会も焼き芋パーティーも大盛況に終わり、心もお腹も満足の時間となりました。

この度、使用したふれあい広場とかまどは地域と学校の思いがこもった場所でもあります。



平成７年１月 17 日に阪神・淡路大震災が発生し、当時、立花西小学校には、約 400 人の地域の人たちが 体育館に避難しました。校舎が使えなくなったため、子どもたちは３月まで立花小学校を借りて勉強しました。校舎の修理が終わるまで４月から２年間、運動場に建てられた３つのプレハブ校舎で学習しました。震災のことをいつまでも伝え、いつまでも心に残る“場所・空間”となるよう願いを込めて、「ふれあい広場」が作られました。思いのこめられた場所に広がった今日のような幸せな時間がいつまでも続くといいなと子どもたちの笑顔を見ながら改めて感じたところです。お助けくださった皆様にも本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。



